



## 大石 勲 (おおいし いさお)

国立研究開発法人産業技術総合研究所  
生命工学領域 研究グループ長  
〒563-8577 大阪府池田市緑丘 1-8-31  
oishi-i@aist.go.jp

1992年に大阪大学基礎工学部を卒業後、同大学理学研究科で生理学を専攻し、1994年に修士課程を修了、1997年に博士号を取得した。1997年から2003年にかけて神戸大学に勤務し、ハエや線虫、マウスなどのモデル生物を用いてタンパク質リン酸化と発達シグナル伝達の研究に従事した。この間、新規受容体チロシンキナーゼファミリー (Ror RTKs) のクローンを作成し、ウイントシグナル伝達に共同受容体が関与する機能を明らかにした。2004年から2007年は、アメリカのソーク研究所で博士研究員として、ゼブラフィッシュを用いた左右非対称性創出機構の解析研究に従事した。

2007年から産業技術総合研究所に勤務し、にわとりの遺伝子組み換えについての研究に従事した。2016年にはゲノム編集技術を用いてオボムコイド欠損鶏を生み出すことに成功した。オボムコイドタンパクは重篤な卵白アレルギーを引き起こす物質であり、この鶏から産まれたタマゴは低アレルギー性が期待されている。

研究テーマは発生生物学に基づいた産業技術の開発である。ゲノム編集技術により有益なタンパク質が卵白に含まれるような「金のたまご」を産む「金のにわとり」を目指している。